

第95回たたかうメーデー大分県中央集会



医療労働者の事態！！

コロナが5類になっても状況は変わらない。そんな中、疲れ果てて離職する仲間も多く、益々人員不足で弊状態！！賃金が上がらないと人も集まらない。みんなで闘って行きましょと述べました。

5月1日、第95回たたかうメーデー大分県中央集会が、大分市祝祭の広場で開催され延べ160名が参加しました。医労連からは12名のみの参加となりましたが、そこにはやはり休むことのできない医療現場の人員不足が深刻となっているからです(ノド)ツツ…。

決意表明では、大分県医労連から全医労大分地区協の春山副議長が『医療労働者の実態を！！』を訴えました。コロナ禍で仕事が大変！人手が足りない！！等で追われる毎日！

県にも要望書を提出！！

メーデーで決意表明した春山副議長と大分県医労連は5月10日、大分県知事宛に『政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める要望書』を提出しました。残念ながら佐藤県知事に直接提出することはできませんでしたが、大分県福祉保健課福祉保健企画の総務企画監が真摯に対応していただき、“診療報酬改定で賃上げにはなることは確かですが、どのくらい（何%）賃上げになるかはこれから実態調査を踏まえて確認したい。人員不足等も国に要望して行きます”と述べました。



ナースウェーブ &

介護を良くするアクション行動

昨年は雨の中の街頭宣伝、今年は5月11日晴れでしたが強風の中での「ナースウェーブ（看護の日）」&「介護を良くするアクション行動」となりました。県労連から3名の支援があり、延べ21名が参加しました。

“人員増と処遇改善を求める国会請願署名”142筆、“介護従事者の処遇改善を求める請願署名”48筆を集めることができました。また、通り行く方からたくさんの激励のお言葉をいただき大変嬉しく癒されました。

皆様、ご協力ありがとうございました。

—ご案内—
9月1日（日）大分県医労連第66回定期大会を開催します

「労働組合とはなんぞや？」は、次回掲載します



検索！

<http://oita-irouren.net/>